



渡辺林平
備前扁壺 胴径十五・高さ十二 cm



渡邊心平
牡丹唐草文蓋物 径九・高さ八 cm



渡辺林平
粉引手捻扁壺 胴径十四・高さ十二 cm

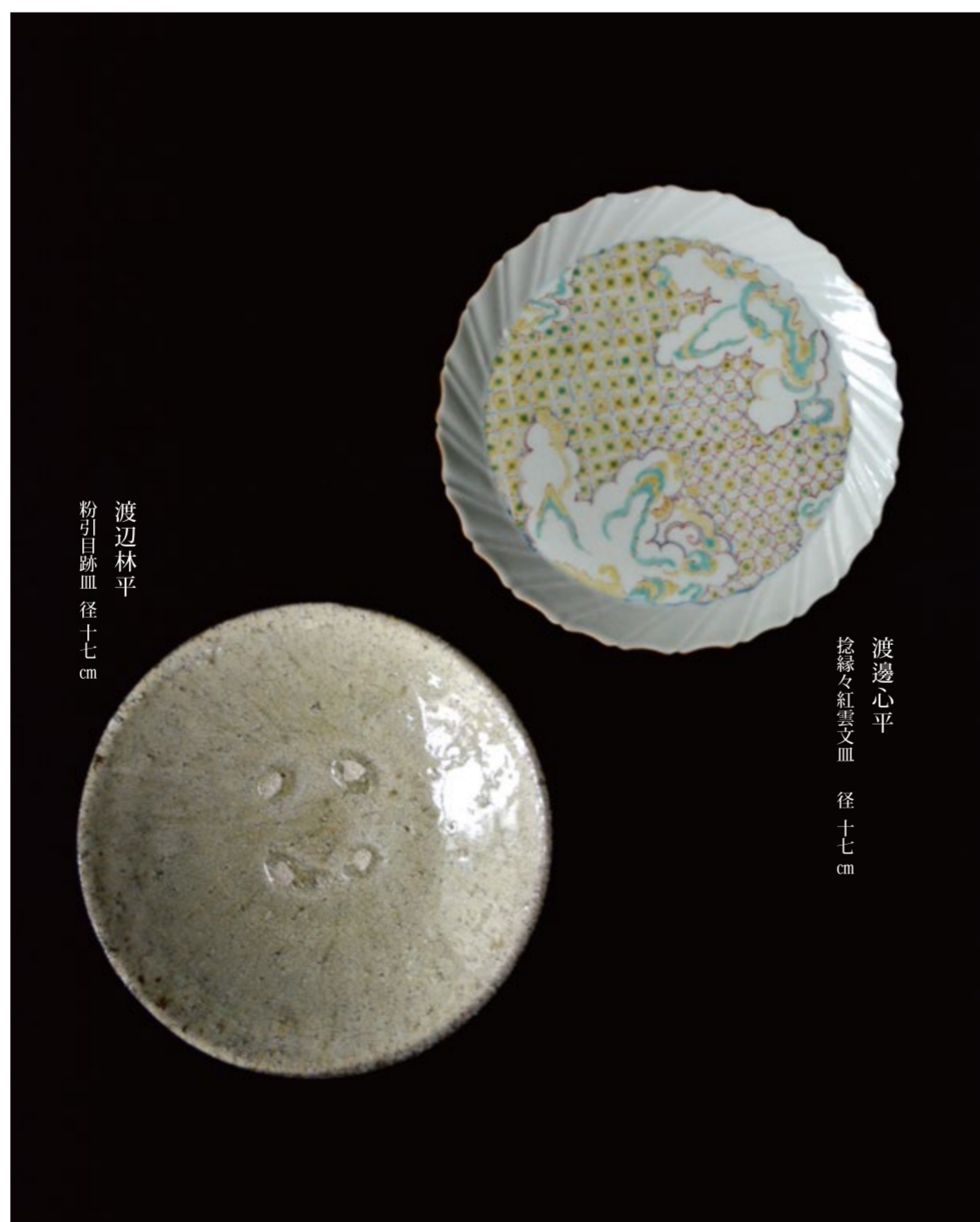


渡邊心平
梅文杯 口径六・高さ六 cm



渡辺林平
刷毛目十字皿 径十五 cm

渡邊心平
雲竜文分銅形小皿 幅十四・奥行十三 cm



渡辺林平
粉引白鉢皿 径十七 cm

渡邊心平
桜舞女紅雲文皿 径十七 cm

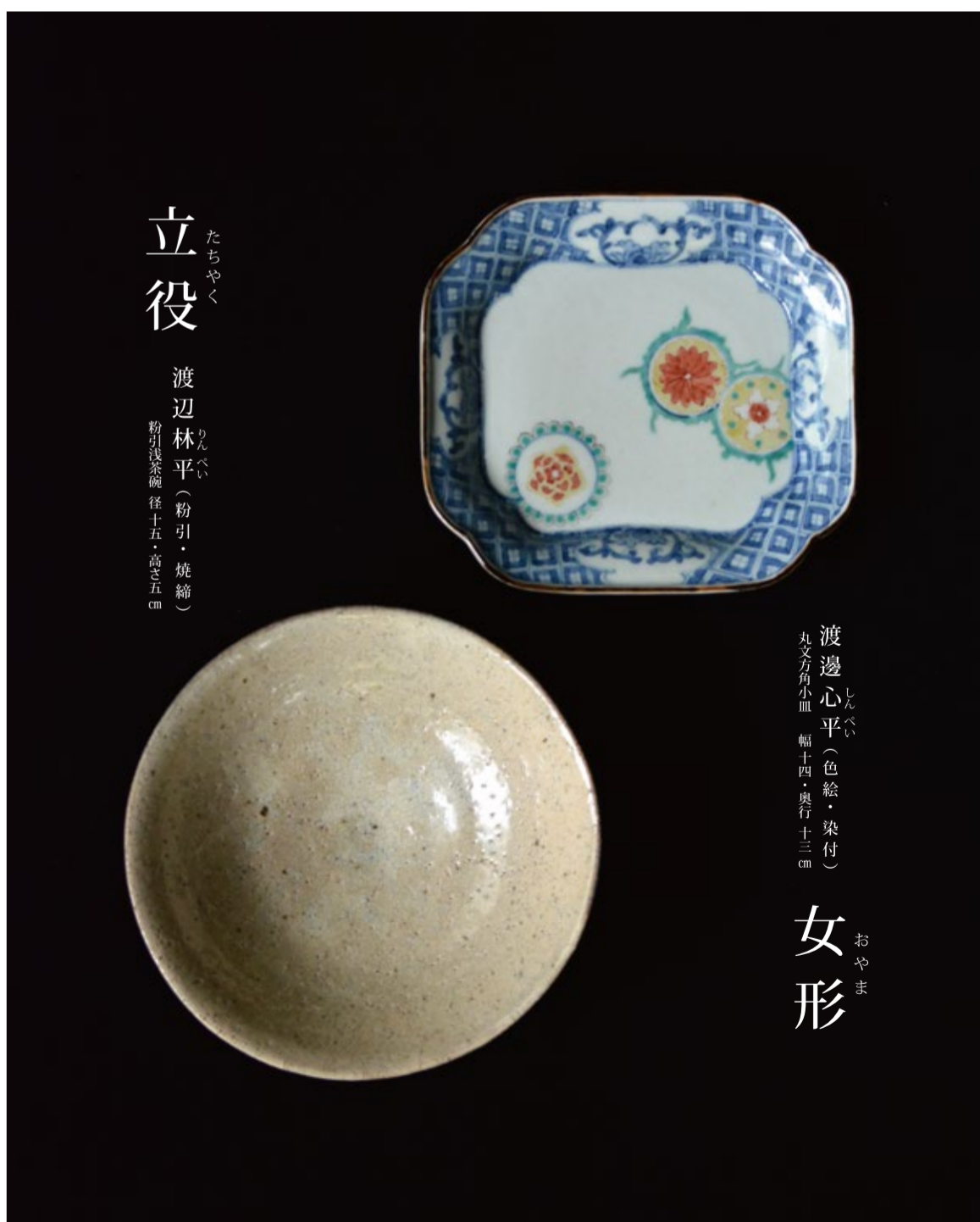


料金後納
ゆうメール

渡辺林平(粉引・焼締)
粉引白鉢皿 径十六 cm

渡邊心平(色絵・染付)
花文文皿 径十六 cm

立ちやく おやま
立役と女形
2020年7月18日(土)～26日(日)



立ちやく
立役

渡辺林平(粉引・焼締)
粉引白鉢皿 径十五 cm

おやま
女形

渡邊心平(色絵・染付)
及方文皿 幅十四・奥行十三 cm

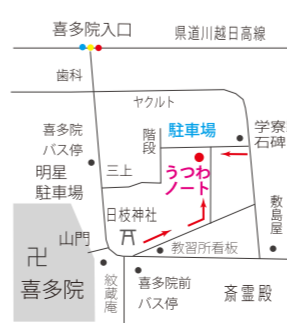
立ちやく おやま
渡辺林平(粉引・焼締)・渡邊心平(色絵・染付)展 立役と女形
2020年7月18日(土)～26日(日)
作家在廊日 7月18日

GALLERY
うつわノート

渡辺林平プロフィール
1974年 岡山市に生まれる
2001年 備前陶芸センター修了
2002年 備前に全地下式窯を築窯
2020年 現在、岡山県備前市にて製作

渡邊心平プロフィール
1982年 愛媛県生まれ
2009年 佐賀県立有田窯業大学卒業
2013年 陶磁器製造会社勤務
2020年 現在、佐賀県伊万里市にて製作

備前の渡辺林平さんと伊万里の渡邊心平さんの二人展です。お名前の近似とは対照的な作風を同じ空間で並べてみたいと思いました。林平さんは中世の古備前に通ずる機織めを軸に近年は粉引や刷毛目にも取り組んでいます。一方の心平さんは近世の初期色絵や古伊万里を軸にして現代の食卓に向けた器を作っています。産地は違っても両者に共通するのは、古格のある器であること、それも当時の不純物を含む材料によって備わる住びた風合いに目を向けていることでしょう。さて器の魅力は男性的な力強さか女性的な艶やかさに大別することが出来るでしょう。質実剛健な模様、容姿端麗な色絵。不思議なことに日本の食卓ではこの対極が同時に成立することです。今回これを歌舞伎の立役(たちやく)と女形(おやま)をどう表現し感情移入させるか。面白いのは古典的な演目であっても、誰が演ずるかで表現は変わります。様式化された舞台で「らしさ」をどう表現し感情移入させるか。面白いのは古典的な演目であっても、誰が演ずるかで表現は変わります。陶芸も同様に骨董に触発されつつ、それをどう現代でどう演じるかは作者の解釈に左右されます。骨董そのものではないがゆえの演出をどう面白がるかは観客側である我々に委ねられます。今回は立役の林平さんと女形の心平さんに舞台上立って頂き、どんな時代物が繰り返られるのか。どうぞ皆様も現代のかぶき者ふたりによる演目をご堪能頂ければ幸いです。 店主



ギャラリー うつわノート
埼玉県川越市小倉波町1-7-6
TEL: 049-298-0715
MAIL: utsuwanote@gmail.com

電車:川越駅(東武東上線)東上り徒歩25分
本川越駅(西武新幹線)より徒歩20分
バス:東武川越駅南口(バス停)徒歩約5分～(徒歩約10分)
駅西口(東武東上線)バス停徒歩約5分～(徒歩約10分)
車:ギャラリー専用の駐車場は3台有